高１生用

甲斐塾講座案内

2026年

(72期生)

新入生・その保護者方へ

はじめまして。私が甲斐です。当塾は中１で入塾した者が高校卒業までの６年間を通い続ける“教育の場”です。長い歳月の間に仲間意識がはぐくまれ、先輩との交流もあって、塾全体が活気に満ちた若者の社交場にもなっています。彼等に健全な方向づけを与えるために、私自身、教育上のいろいろな模索をおこないました。そして今も探し求めているものは、スポーツや遊びに熱中できる気概を学習に導入させる方法です。この“おもしろいからやりたくなる”という学習を塾生に実践させたく、教材はもちろんのこと、講座の編成や運営についても様々な試みをなしています。例えば教科書的内容を塾と学校で反復するだけの学習にしていないのも、これでは、教わる者にとって一度見た味気ないテレビ番組をもう一度見せられているようなものだからです。それが成績を向上させる最良策だと叫んでみても、生徒達が意欲をかき立てるわけもなく、もはやこれは教育でないと考えています。

このような考えを推し進めようとして、今日の甲斐塾では卒業生も教壇に立ち、私に教育されつつある中学・高校生の受験勉強に助言と指導を与える役割を担ってくれています。私“甲斐さん”を共通の師として、教える者と教えられる者とが講座ごとになごやかな人間関係の輪をつくり、このような幾重もの輪の集合体が甲斐塾と言えます。我々が“甲斐さんファミリー”と呼ばれるのは、そのためなのでしょう。

甲斐　　喬

当塾の費用はすべて税込みで表示しています。

高１の講座を紹介します

講座名と講師名	曜日と時間帯	受講料（月額）	対象者・授業内容など
４数学Ａ　宮村	（月） 7:45～ 9:00 （木）	¥11,000.－	・大学受験に必要な内容を３年間で一貫指導します。 ・学校の内容に沿わずに独自のカリキュラムで学習します。 ・レベルは高いですが、努力する人は大きく成長します。
数学個別	冊子裏の個別表 参照	週1回で 月額 ¥7,000.－	・学校の学習を個別に指導します。高校では自宅学習が必要です。基本的には週２回受講してください。 ただし数学Ａと併用するときは週１回でも可能です。 ・曜日・時間帯は随時変更になりますのでお問合せください。
４英語　千歳	週２回	¥11,000.－	・学校のカリキュラムに沿って，学校より早く進みます。 ・市販のテキスト(テキスト代実費)や学校の教科書も使用し，テスト対策・リスニング対策も実施します。 ・月木18:30～19:45を高１生用にしています(それ以外も可)。
	週３回	¥15,000.－	
４化学Ｌ化学科	（木）9:00～10:15	¥7,000.－	・無機や有機の知識より，理論を重視した授業です。 ・理科分野の中間・期末テスト対策や質問も受付けます。 ・学校の進度によっては，個別に対応していきます。
４物理Ｊ物理科	（月）9:00～10:15	¥7,000.－	・物理基礎を高1で習う生徒が多いです。 ・学校の授業に関係なく理系志望者は習っておきなさい。 ・文系で基礎物理が必要な人は，途中から個別指導します。

注：◎**「月額の納入額」は、上記(下記)の受講料の合計に在籍料¥4,000.－を加算した金額となります。**

◎ 数学個別講座の受講料は，週あたり１回75分で月額7,000.－です。週あたり２回受講する場合は月額14,000.－となります。受講曜日・時間帯は，冊子裏の「個別の時間割」を参考にしてください。
いずれのクラスも少人数制ですので人数に限りがあります。相談のうえ，決めていただきます。

◎ 物理Ｊ・化学Ｌは，宮村が指揮をとりながら，理科系講師が授業します。

新入生の入塾手続きの要領

・塾の授業は，中学部の授業を継続しており，進学が決定した者から，順次，高校部へと移行しています。
ご興味のある方は，まず電話で御連絡ください。日曜・祝日を除く，16:00～19:45にお願いします。
詳細の説明，あるいは，相談日を決定いたします。質問・要望などありましたら，お気軽にお問い合わせください。

・ご相談の結果，所属講座が決定したら、入塾手続きをしてください。
「受講届」と入学金20,000円・「月額の納入額(月謝)」が必要です。
その日より授業が受けられます。また数回，授業体験することも可能です(無料・要相談)。
その場合は，見学後，甲斐塾でがんばろうと思ったなら，入塾手続きをしてください。

・２月中は旧年度の時間割で運営していますので，時間帯がずれています(電話にて確認)。

・途中編入するのが難しい講座は，それを補うために個別講座を併せて受講することをおすすめします。
そのつど相談させていただきます。

継続生のスケジュール

原則として，数学Ａ→数学Ａ，英語ＰＱ→英語週２回，理科Ｆ→化学Ｌ・物理Jと引き継ぎます。
個別授業は担当講師に説明を受けなさい。

～２月28(土)	◎ 平常授業をおこないます。すでに進学が決定いる人には，高校での学習を指導します。
３月～	◎ 2月の終わりに指示します。受験が終了した人から順次高校の学習をします。 ３月９日(月)からは，一斉に高校の時間割で授業します。集団授業は以下の通り 月曜日　18:30～英語～19:45～数学～21:00～物理～22:15 木曜日　18:30～英語～19:45～数学～21:00～化学～22:15 ◎ 物理は理系に必要な科目ですが，文理わからない場合もまず受講してください。 ◎ 個別講座に関しては，担当講師に時間割を聞きなさい。 ◎ 高校の英語講座は，すべて個別授業で，上記時間割は継続生のための暫定的なものです。 学校の様子がわかった段階で，曜日時間帯を変更できます。千歳に相談しなさい。

数学科からのメッセージ

◎ あなたが「理系生」をめざすなら……

数学・英語・理科があなたにとって重要科目になります。受験で必要とされるレベル・内容から考え合わせても、「数学A」の講座を受講することが望ましいでしょう。数学が苦手な理系生なら，さらに「数学個別講座」を追加して受講してください。

◎　あなたが「文系生」をめざすなら……

英語・国語があなたにとって重要科目になります。ただし国公立を受けるならば数学・理科が必要になり、その中でもレベルの高い大学を目指すなら数学のウェイトが大きくなってきます。従って、数学が嫌いでないなら「数学A」を、苦手ならば「個別講座」のいずれかを受講するのがよいと思います。

◎　理系か文系か、決まっていないならば……

とりあえず「数学A」を受講しましょう。不安なら「数学個別講座」も受講してください。もし「数学A」のレベルが高くて理解できないようならば、その時点で「数学個別講座」だけにすればいいでしょう。

◎　あなたが短大や私立文系をめざすなら……

数学は不必要です。ただ、学校の内申点がよくないと推薦入試が受けられなくなりますから、中間・期末テスト対策として「数学個別講座」のいずれかを受講するとよいでしょう。

理科からのメッセージ

◎　中学理科と高校理科の違い

中学校では「どのような現象がおきるのか」、高校では「なぜ現象がおきたのか」を学習します。従って内容も濃くなり、物理・化学・生物・地学に分かれています。甲斐塾では理系生を意識して従来通り正攻法に学習していきます。

◎　甲斐塾のカリキュラム

少し前より，物理を高１で指導することにして，数学物理が融合しやすくなり良い手ごたえを感じています。
従いまして，君たちには，高１から物理を指導していくことにします。

◎　あなたが理系生なら

物理・化学を勉強することが望ましいです。大学受験では物理の代わりに生物でも受験できる場合がありますが、正攻法なのは物理化学だと思います。生物が必要な場合は指導できますので，随時ご相談ください。

◎　あなたが文系生なら

国公立を受験するなら、大半の方は，共通テストで基礎化学と基礎生物を受けることになります。
高１で「化学Ｌ」を受講しておけばいいと思います。基礎物理でも受験可能ですがそういう人は少ないと思います。

◎　高１物理開設にあたっての不安材料

高校入学したばかりで，理系か文系かもわからない。理科の選択をどうしたらいいかもわからない。
こんな方は多いと思います。そういう人は高度な数学や物理をかじってみると進路も決めやすいと思います。
物理が不要になったら退講すればいいだけです。逆に途中から必要になった場合の方が苦労しますよ。
個別講座で追いついてもらう方法になると思います(途中入学の場合もそうなります)。
もう１つの問題点。物理では数学を多く使います。数学を知らないため物理がわからなくなる人がいます。
しかし，甲斐塾では，数学と物理は一体化しています。数学も物理も同じ講師が指導に当たっているからです。
例えば，三角関数を一番使うのは物理です。数学で理屈を習って物理でドリルを積んだら，一挙両得と思えませんか。
授業としては，中学の物理分野から復習していきますので，苦手な人も安心して受講できます。

英語科からのメッセージ

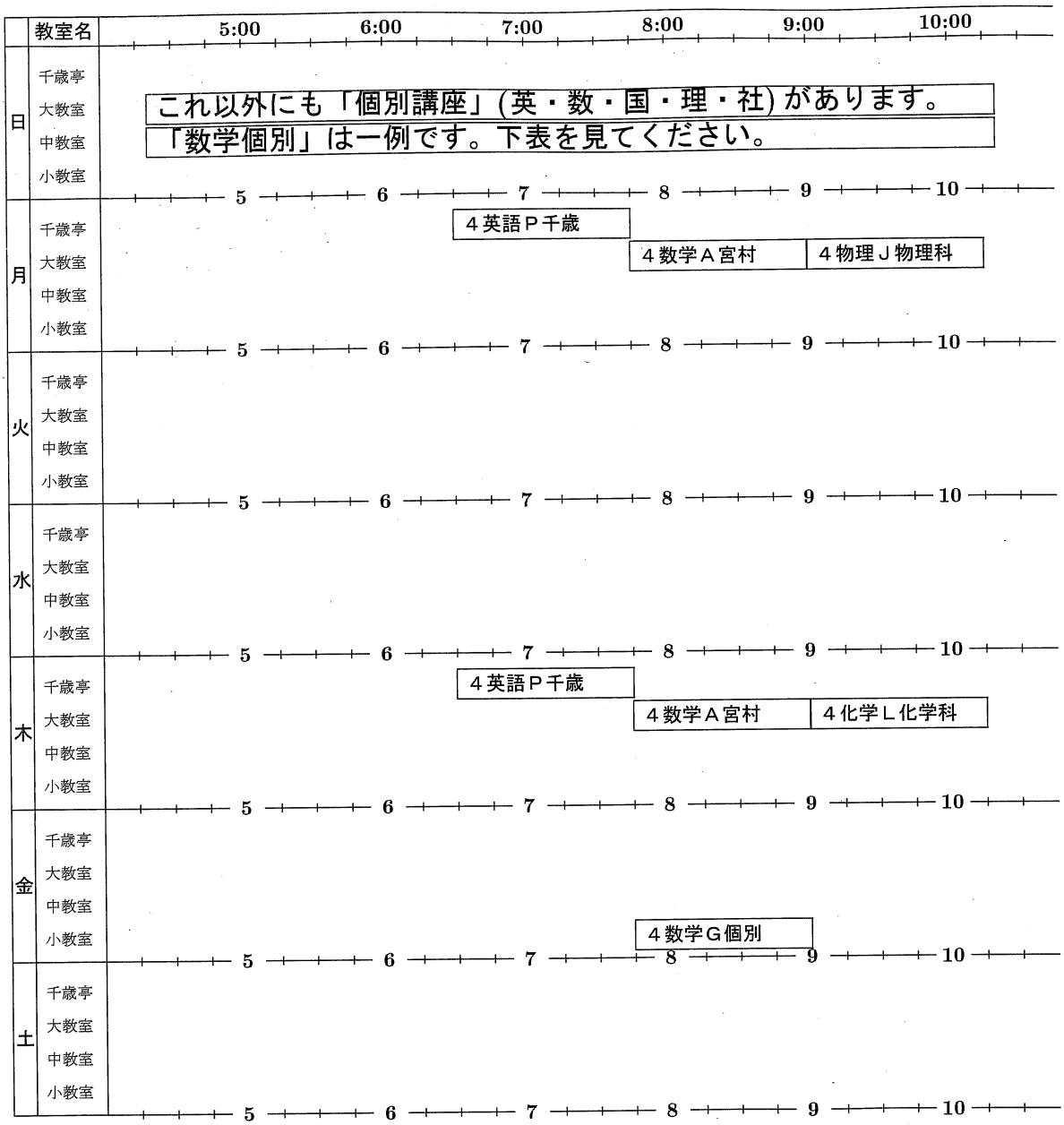
◎　英語は決して「暗記科目」ではありません。
テスト前に丸暗記してテストを通過してきたキミへ。それは本当の学習の姿ではありません。ある程度覚えなくてはならないところはありますが、英語にも「思考」が必要です。まず自分の力で英文がどのような意味になるか「思考」します。そして授業に臨んで下さい。教室での訳と自分の「思考」したものが違えば、なぜ違うか「思考」して下さい。答えは必ずあるはずです。その答えを教室で学びとってください。

◎　英語には文系生・理系生の違いなどありません。
どんな学校でも英語が必修科目になっています。入試でもほとんどの人は英語からのがれることはできません。それなら、逃げることを考えずに前向きに立ち向かうことを考えるべきです。

◎　英語をすべてマスターする必要はありません。
読む力, 書く力, 聴く力, 話す力, と英語を分ければ「受験英語」で主に必要なものは次の通りです。

客観入試・私立大(短大も含む)	読む力(聴く力)
国公立２次	読む力 書く力
外国語大学	読む力 書く力 聴く力
英語検定	読む力 書く力 聴く力 話す力

◎　つまり、効率の良い英語の勉強が必要です。
確かに英語の勉強には時間がかかります。しかし、だらだらと勉強していてはいつまでたっても力はつきません。
受験英語の「ツボ」をおさえた授業を体験して下さい。



個別の時間割　（随時変わりますので，お問い合わせください）

・英語・国語・社会の個別は「英」より，数学・理科の個別は「数」より選んでください。
・空き人数は随時変わります。学年や内容によっても異なります。ご相談ください。
（別の時間帯にも空きができることもあります）

曜日	2:45～4:00	4:00～5:15	5:15～6:30	6:30～7:45	7:45～9:00	9:00～10:15
月		数	数	数	数	英　数
火		数	数	英	英	英
水		数	数	数	英	
木		数	数	英　数	数	英
金		数	数	数	英	英
土		数		数	英　数	英
第2･4日曜					英	

甲斐塾のきまりを了承してもらいます

1．新年度が開始されるのは？	どのクラスも３月から始まって、１年間の継続授業になっています。 途中での入退は自由にできますが、以下の手続きをしてください。
2．途中から入塾するときは？	「受付」に申し出てください。４月以降ならば授業を参観することが できます。
3．退講・退塾したいときは？	「受付」に申し出てください。月謝袋を提出してもらいます。なお、 手続きがなされていない場合は受講料を請求させていただきます。
4．クラス変更したいときは？	空席があれば自由に変更できます。「受付」に申し出てください。 ただし、月末に届け出るようにしてください。
5．受付業務を行なう時間は？	月曜日～土曜日の17時～21時です。 祝日や塾の特別行事，春夏冬休み期間は業務を行なっておりません。
6．電話による問い合わせは？	末尾の電話で応対いたします。ただし、授業中に講師や塾生を呼び 出すことは、できるだけ控えてください。
7．受講料を納入する方法は？	月謝袋を前月にお渡しします。前月中に納入してください(先払い制)。 納入された受講料は退講の場合も返金せず，おつりは来月分で調整いたします。
8．全休した場合の支払は？	納入していただきます。ただし病気・留学などの場合は，その限りでは ありません。可能な限り対応しますので，必ず事前にご相談ください。
9．納入金を滞納したときは？	前月までにお支払いがないときは滞納となります。すぐにお支払いください。 どうしてもの理由があるときは，ご相談ください。
10．面談を希望されるときは？	本人との面談は、本人自身が担当講師に申し出なさい。 保護者との面談は、日時を決めますので，御連絡ください。
11．授業の日が祝日のときは？	原則として授業も休みです。ただし高３講座などで授業をする場合が あります。そのときは、担当講師が前もって指示します。
12．暴風警報が出ていたら？	学校がおこなう処置に準じますから、夕方に警報が解除されても、 塾は閉鎖されます。
13．春、夏、冬の休み期間は？	一週間程度の休みを設けます。また休み期間に補習を設ける事もあります。 なおプロ講師には年に一週間ほど，別途に休みを設けさせていただきます。
14．塾内での飲食については？	ロビー・自習室では許可しますが、あとの処理(分別)をきちんとしなさい。 授業中の飲食は原則禁止ですが，詳細は講師の指示に従いなさい。
15．塾の備品を破損させたら？	悪質な場合は、それなりの処理をとらせてもらいます。共同で使用する物を いためつけるような生徒は、強制的に退塾させます。
16．自転車で塾に来ることは？	ルールを守る限りかまいません。指定の場所におきなさい。 夜間～昼間，塾の授業のない日の駐輪はできません。バイクは禁止です。

甲斐塾の所在地と連絡先です

所在地：〒612-0073 京都市伏見区桃山筒井伊賀西町17番地 千歳ビル２階
（京阪丹波橋駅 北改札口を出て，右へ(山手)。地上に出てきてスグ左手に千歳ビル２階）
（近鉄丹波橋駅 京阪への連絡橋 途中で降りて 右(北)へ200m，交差点に出る手前10m左，ビル２階）
電話 075（611）5555(17時～)
090（7870）4757(10時～15時)(宮村) メール **please@kaijuku.me**（宮村）
090（2282）6085(10時～15時)(千歳)

《太線の欄を記入してください。》

受　講　届

〈下記に示された個人情報は，当塾からの連絡・業務等に使用し，第三者に開示することはありません〉

生徒番号　７２

フリガナ：

氏　　名：　　男 女

届 出 日：令和　　年　　月　　日

生年月日：平成　　年　　月　　日

入塾学年：（○で囲んでください）

中1	中2	中3	新規

中学校名：　　中学校

高 校 名：（決定しているなら記入）　　高等学校

家族構成：記入例　父…警察官　母…家事　祖父…文具販売　弟…小３

父 …			…			…		
母 …			…			…		

住　　所：〒

電話番号：（　　）　　－

友 人 名：同席したい友人があればその人の名前を書いてください。

当塾の在学生・卒業生の親族名または紹介者名：
（該当者があればその人の名前を書いてください）

希望講座：（受講を希望する講座名を○で囲んでください。）

数　学	英　語	理　科
４数学Ａ 宮村	４英語Ｐ千歳	４物理Ｊ物理科
４数学個別週１	４英語千歳週１	４化学Ｌ化学科
４数学個別週２	４英語千歳週２	
	４英語千歳週３	